

第3 重点施策の概要

1 経済安全保障対策の推進

技術情報流出防止対策推進事業 <継続>

県内企業等による技術情報流出防止への取組を支援するため、有識者によるセミナー開催など企業のニーズに応じた実効性のある対策を通じて、技術情報流出防止に向けた機運の醸成を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 警察主催の有識者によるセミナー開催■ 県内企業等への情報提供■ サイバー攻撃対処訓練の実施
予算額	957千円

2 犯罪や暴力から県民を守る対策の推進

(1) ストーカー・DV等の犯罪被害防止対策事業 <継続>

ストーカー・DV等の被害者への支援の充実と被害の未然防止・拡大防止のための施策のほか、加害者の抱える問題にも着目した対策を推進します。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 人身安全関連対策用資機材の整備■ カウンセリング等による加害者更生
予算額	441千円

(2) うそ電話詐欺未然防止推進事業 <継続>

手口が変化するうそ電話詐欺被害を未然に防止するため、高齢者等に対する注意喚起や、防犯団体と連携した戸別訪問指導などを推進し、更なる防犯力強化を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ うそ電話詐欺対策拠点活動(コールセンター)による注意喚起■ うそ電話詐欺被害防止戸別訪問隊による防犯指導■ 事業者等と連携した水際対策の強化
予算額	5,318千円

(3) 社会全体で温かく支える犯罪被害者等支援活動 <継続>

犯罪被害者等の被害回復や軽減、二次的被害を防止するため、刑事手続き等の情報提供や、犯罪被害者等への理解を深めるための広報啓発活動など、社会全体で温かく支えるための支援活動を推進します。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 犯罪被害者等に対する情報提供等<ul style="list-style-type: none">・ 「被害者手帳」の作成、配付■ 犯罪被害者等に対する精神的・経済的支援<ul style="list-style-type: none">・ 臨床心理士等によるカウンセリング・ 身体犯被害者の医療費に係る公費負担制度・ 事情聴取場所及び一時避難場所の借上げ制度■ 民間被害者支援団体のノウハウを活用した支援活動<ul style="list-style-type: none">・ 電話・面接相談業務、公判への付添い支援業務の委託・ 「命の大切さを学ぶ教室」の開催など広報啓発業務の委託
予算額	14,639千円

(4) 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動 <継続>

非行少年の立ち直りを支援し、再非行に走ることを防ぐため、「体験型共同活動」を実施するほか、深刻化するネット問題やいじめ問題等に対応するため、非行防止教室の開催や学校への訪問活動等により、児童生徒の非行及び被害の未然防止対策を推進します。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 非行少年の立ち直り支援活動■ 「体験型共同活動」の実施■ 非行防止教室の開催、学校への訪問活動
予算額	44,285千円

(5) ICT機器を活用した少年の被害防止対策等推進事業 <継続>

通学路など、子供にとって身近な地域で起こりうる被害や交通事故を未然に回避するため、デジタル技術を活用した防犯・交通安全教室の開催等により、自主防犯意識と交通安全意識の高揚を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 学校協働による通学路の危険箇所等に係るVR動画の制作■ VRゴーグルを活用した体験型防犯・交通安全教室の開催■ リモートによる教育・意見交換会の開催■ 動画配信サイトや各種イベントを通じた広報活動
予算額	601千円

(6) 警察学生ボランティア活性化事業 <継続>

ボランティア活動に参加した学生に対し、進学時・就活時にも活用できる「活動証明書」を発行する制度を設け、学生ボランティア活動の活性化を促進し、学生の規範意識・自主防犯意識の向上を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 学生ボランティア活動証明書の発行■ 学生ボランティア活動報告会の開催■ 学生ボランティア活動の充実
予算額	1,099千円

3 地域に密着した安全・安心活動の推進

(1) 防府警察署建設事業 <継続>

防府市の治安維持拠点施設として、地域の治安情勢を踏まえた効果的な警察活動を行うため、行政サービスの向上と住民の利便性を考慮した防府警察署の建替え整備を進めます。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 建設地 防府市寿町■ 令和8年度事業<ul style="list-style-type: none">・ 新築工事（4か年計画の2年目）
予算額	929,010千円

(2) 周南警察署建設事業 <継続>

周南地域の治安維持拠点施設として、地域の治安情勢を踏まえた広域的かつ効果的な警察活動を行うため、行政サービスの向上と住民の利便性を考慮した周南警察署の建替え整備を進めます。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 建設地 周南市遠石■ 令和8年度事業<ul style="list-style-type: none">・ 既存建物解体工事（3か年計画の2年目）・ 用地補強、整備（設計）・ 新庁舎建設基本・実施設計（4か年計画の1年目）
予算額	353,554千円

(3) 交番・駐在所整備事業 <継続>

老朽化が著しい交番や駐在所について、地域住民の利便性を考慮した計画的な施設整備を行い、行政サービスの向上を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 交番の新築 防府警察署牟礼交番■ 交番・駐在所の改修設計 萩警察署江崎幹部交番、柳井警察署祝島駐在所■ 駐在所の外壁改修等■ 連絡所（旧駐在所）の解体 周南警察署向道連絡所
予算額	151,504千円

(4) 県民の安心を育むパトロール強化活動 <継続>

住民からのパトロール要望に応えるため、地域の実態に応じた制服警察官によるパトロールを強化し、事件・事故の未然防止に努めるほか、「あんしんカード」の積極的活用等により、地域住民が安心して暮らせる社会の実現を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 交番相談員配置による地域警察活動の支援■ 管内情勢、住民要望を踏まえたパトロール活動の実施■ 犯罪実態の分析による犯罪の予防・検挙活動■ 「あんしんカード」の効果的活用
予算額	262,873千円

(5) 県民生活の安全と平穏を確保する暴力団排除活動 <継続>

暴力追放県民大会や講習会等を積極的に開催し、県内における暴力団排除の気運を更に盛り上げるとともに、暴力団排除条例等を活用した暴力団との関係遮断対策を強化し、暴力団のいない安全で安心なまちづくりを推進します。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 公益財団法人山口県暴力追放運動推進センターの活用■ 暴力団対策法に基づく「不当要求防止責任者講習」の開催■ 保護対策による暴力団事件被害者等の安全確保
予算額	11,062千円

(6) 街頭防犯カメラ設置補助金交付事業 <継続>

自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部を補助し、防犯カメラの設置を促進することにより、物価高騰下における暮らしの安全・安心を確保し、県民の安定した生活基盤を確保します。

事業内容	■ 自治体等が設置する防犯カメラの設置費用を補助 [補助率] 3/4 [補助上限] 1台あたり25万円 1自治会等あたり100万円
予算額	11,250千円

4 交通事故から県民を守る対策の推進

(1) 交通安全県やまぐち推進事業 <継続>

交通事故総量及び交通死亡事故の減少を図るため、高齢者が交通事故の加害者・被害者とならないための対策と、県民の交通ルール遵守・マナー向上のための対策を推進します。

事業内容	■ 高齢者セーフティ事業 ・ 反射材着用の普及促進等による交通事故防止対策 ・ 交通安全定期診断の実施 ・ 運転卒業証制度による運転免許返納後の生活支援の充実 ・ 安全運転サポート車の普及に向けた広報啓発活動 ■ 交通安全マナーアップ推進事業 ・ 横断歩道ハンドサイン運動等による歩行者の安全確保 ・ 児童、生徒、教職員等を対象とした交通安全教育の実施 ・ 飲酒運転体験セミナー等の開催 ・ スピードダウン推進事業所と連携した速度抑制対策 ・ ハイビームの上手な活用による交通事故防止対策 ・ 自転車の交通安全教育の充実
予算額	3,850千円

(2) 交通事故防止施設総合整備事業 <継続>

高齢者や速度抑制に配慮した信号機を整備するほか、通学路等において子供を交通事故から守るための道路標示を整備するなど、各種交通安全施設の整備を図り、交通事故のない安全で安心なまちづくりを推進します。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 高齢者等の交通事故防止対策<ul style="list-style-type: none">・ 信号灯器のLED化・ 横断歩道標示、道路標識の高輝度化■ 速度抑制対策<ul style="list-style-type: none">・ 信号機の系統化・ 標識の整備■ 在日米軍再編関連対策<ul style="list-style-type: none">・ 信号柱の強度化・ 車両用灯器のLED化・ 道路標識・道路標示の高輝度化■ その他の交通安全施設の整備<ul style="list-style-type: none">・ 横断歩道等の高輝度化・ 信号柱の移設・ 信号機電源付加装置の整備・ はみ出し禁止ラインの高輝度化
予算額	846,325千円

5 サイバー空間における安心・安全の確保

サイバーセキュリティ対策事業 <継続>

スマートフォン用の高機能解析用資機材を整備し、サイバー犯罪に対する取締りを推進するとともに、民間事業者をはじめ、民間のセキュリティ対策を推進する団体等と連携し、官民一体となった実態把握や広報啓発活動を実施して、サイバー空間の脅威の低減を図ります。

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 捜査用資機材の整備■ サイバー空間の脅威へ対処するための職員の対処能力向上■ 県民に対するサイバーセキュリティ関連の研修及び情報発信
予算額	26,852千円